



用意するもの(1m²当たり)

- 苗数本 ■ 苦土石灰 50g(軽く2握り) ■ 元肥(完熟堆肥1kg、化成肥料=窒素8-リン酸12-カリ20タイプ25g《一握り》、硫酸カリ20g) ■ 敷きわら数束 ■ 落ち葉約20ℓ
- 草木灰数据り ■ 追肥(1株当たり)/化成肥料(窒素10-リン酸10-カリ10タイプ)20g、硫酸カリ10g ■ 草木灰1握り

栽培カレンダー

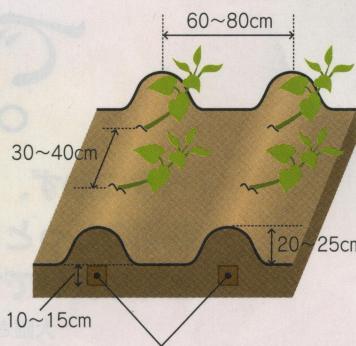
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
植え付け						収穫					

鹿児島県はサツマイモの生産量日本一。火山の噴出物が堆積してできたシラス台地はサツマイモ栽培に適しており、高品質のイモが生産されています。ホクホクとした食感と自然な甘みで、焼き芋や大学芋、天ぷらのほか、お菓子の素材としても人気。ゆっくり加熱すると甘みが増します。

【ヒルガオ科・中央アメリカ原産】



③管理



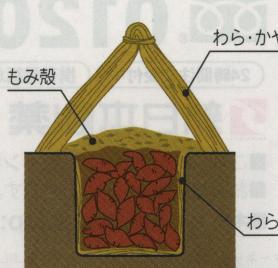
*苗は畝と並行になるように植える

植え付けは株間30~40cmで、苗の本葉が7~8枚のときは深さ5cmの水平植えに、葉が少なく丈が短いときは深さ10cmぐらいに斜め植えする。上から土を押さえておく。

寒さに弱いので霜の心配がない時期に植える。植え付けの2週間前までに苦土石灰を散布してよく耕しておき、1週間に浅く溝を掘り、わらや落ち葉を敷き、元肥と草木灰を施し高さ20~25cm・畝間60~80cmぐらいの畝を作る。畝間に水がたまらないよう排水には注意する。

* ポイント*

- ・日当たりが良く排水のいい場所を選ぶ。
- ・肥料は窒素よりもリン酸、カリを中心に施す。
- ・早め早めに除草、中耕、土寄せする。



苗を購入するときは茎が太く、丈は20~25cmで節間が詰まったものを選ぶ。

②植え付け

お盆過ぎから収穫を始め、霜が降り始める前に終わらせる。ツルを鎌で切り、イモの表面に傷が付かないよう丁寧に掘り上げる。

⑤貯蔵

土中に深さ60~90cmの穴を掘り、並べて貯蔵すれば4月ぐらいまで保存できる(雨水が入らないよう注意)。発泡スチロールの箱にもみ殻と一緒に入れておいてもよい。

栽培手順

寄せをする。株間に追肥を施し土寄せする。ツルが畝間を覆うようになったら、草木灰を葉の上から振りかけるとよい。

④収穫